

Book Review

インプラント・ガイドッドサージェリー デジタルソリューションによる安全・安心な治療

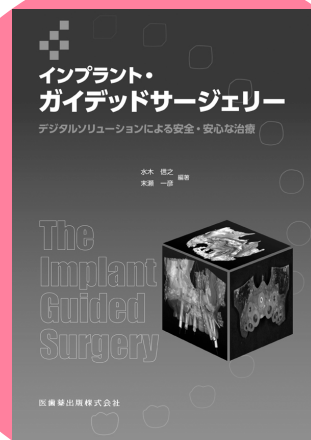
水木信之・末瀬一彦 編著



Reviewer

宮崎 隆 Takashi Miyazaki
(昭和大学 歯学部長)

A4判, 184頁
定価 12,960円 (税込み)
医歯薬出版刊



我が国のインプラント・ガイドッドサージェリーの第一人者である水木先生と、日本デジタル歯科学会理事長で歯科医療のデジタル化を牽引している末瀬先生がコラボで編集した「インプラント・ガイドッドサージェリー デジタルソリューションによる安全・安心な治療」が上梓されました。臨床系書籍としてはコンパクトですが、写真や図表を含めて情報量は膨大であり、これからガイドサージェリーを導入したいと考えている臨床医だけでなく、すでに導入されているベテランの臨床医にも有益で実践的な書籍です。

インプラント治療は日本の歯科医療に定着し、多くの国民が恩恵を受けていますが、一方でより安全・安心な治療が社会的に求められています。インプラント治療に限らずこれまでの歯科治療は術者の経験や技能に支えられてきましたが、近年デジタル技術の導入により大きなパラダイムシフトが起きています。

インプラント体埋入外科手術では、従来からアナログ的に作製したサージ

カルガイドが利用されていましたが、近年各社からデジタルソリューションにより作製されたサージカルガイドシステムが提供され、さらに動的なナビゲーションシステムも利用できるようになっています。

手術だけでなく、インプラント治療にはCTや歯科用CBCTの検査機器、模型用スキャナー、口腔内スキャナー、シミュレーションソフトウェア、ミリング装置、3Dプリンターなどのデジタル機器が幅広く利用され、検査から治療計画の立案、手術、上部構造の作製まで一連のデジタルソリューションが可能になっています。

本書はガイドッドサージェリーシステムの紹介と臨床例の提示にとどまらず、デジタルソリューションの流れについても、各機器の特徴を専門家が詳しく解説していますので、インプラント治療にとどまらず歯科治療全般へのデジタル化の現状を理解できます。

社会全体にデジタルが導入され便利な世界になったと実感するとともに、従来の生活スタイルも完全に捨てるわ

けにはいきません。医療においては人の命を扱っているのですべてをAIやロボットにゆだねるところまでは到達していません。本書の序文でも、ガイドッドサージェリーの適応症のガイドライン作成の必要性が提案され、アナログとデジタルを融合して両者の利点・欠点を十分に理解することの重要性が述べられています。

この観点から、第3章の「ガイドッドサージェリーのための骨の評価や治療計画立案」や「難易度分類」は参考になります。第5章の「ガイドッドサージェリーの臨床応用に関する留意点」では、各種合併症やトラブルシューティングを詳細に紹介しています。これはすでにガイドッドサージェリーを実践している臨床医にもあらためて臨床ステップの精査を促すものです。「患者への治療説明における留意点」はスタッフ教育にも参考になります。

本書が多く臨床医ならびに歯科関係者に活用され、安全・安心で良質なインプラント治療提供につながることを期待します。